

## コラム⑤ 地域で声かけ～困っている人、いつもと様子が違う人を見かけたら～

## あなたの声かけが、命を救うことがあります



- 気候や場所に合わない服装や汚れた格好である。(冬に薄着、夏に厚着、裸足など)
- 道路の縁石などに、長時間座り込んでいる。
- 地域で見かけない高齢者がいる。
- ウロウロ、キョロキョロ、ソワソワと困っている様子をしている。

## 声かけの流れ

体調が悪そう

119番(消防へ)

手がかりがない

110番(警察へ)

何かお手伝いできることはありますか？

何かお困りのことはありますか？

## 声かけのコツ

## ・3つの「ない」

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

## ・7つのポイント

1. まずは見守る
2. 余裕をもって対応する
3. 声をかけるときは一人で
4. 後ろから声をかけない
5. やさしい口調で
6. おだやかに、はっきりした話し方で
7. 相手の言葉に耳を傾け、ゆっくり対応する

## 手がかりがある



## ・見守りキーホルダーがあった場合

キーホルダーに書かれたおとしより相談センターに電話(月～土 9:00～17:00(祝日・年末年始を除く))、または、警察署・消防署に届けて、キーホルダーの存在を伝える(警察がキーホルダーをみて、事前登録された緊急連絡先に連絡をする可能性があります)。

・洋服や持ち物に緊急連絡先などが書かれていた場合  
本人の了解を得て、緊急連絡先などに連絡をする。

## ・その他の手がかりがあった場合

緊急連絡先などは直接的にわからないが、なんらかの手がかり(手帳、スマホなど)を見つけたことを警察に伝える。

